

『どうぶつえんでまなぶSDGzoo』

東武動物公園で「コーヒーかす」をアップサイクル

11月15日(土)贈呈式開催

東武動物公園（東武レジャー企画株、埼玉県宮代町、取締役社長：石附栄一）では、昨年に引き続き、11月15日(土)・16日(日)に「どうぶつえんでまなぶSDGzoo」を開催します。本イベントでは、SDGsや生物多様性に関するクイズやワークショップに加え、コーヒー焙煎時に発生する「コーヒーかす」や麻袋を動物福祉に役立てる新たな取り組みを始めます。これまで焼却処分されていたコーヒーかすを動物舎の床材などに再利用することで、CO₂排出量と食品ロスの削減を目指します。15日には協力企業（三本珈琲、ドトールコーヒー）を招き、贈呈式とコーヒーかすを動物園で活用する取り組みについて、地元 埼玉県立杉戸高等学校の生徒による紹介も行います。

詳細は以下のとおりです。

■メイン企画「コーヒーかす贈呈式」

【実施日時】 2025年11月15日（土）13:30～14:00

【場所】 東武動物公園ふれあいどうぶつの森内森のステージ

【プログラム】

1. 開会
2. 埼玉県立杉戸高等学校の学生による「コーヒーかす」のプレゼンテーション
コーヒーかすを動物園で活用する意義をわかりやすく伝えます。
3. 贈呈（協力企業から動物園の担当者へ）
協力企業の三本珈琲、ドトールコーヒーのご担当者様より、動物園担当者とミニチュアホースにコーヒーかすと麻袋をプレゼントしていただきます。
※ミニチュアホースの首にぶら下げられたかごの中に軽いコーヒーかすを入れてもらいます。
4. 協力企業からの挨拶（三本珈琲、ドトールコーヒー）
5. 動物園担当者からの挨拶
6. フォトセッション
7. 閉会

※閉会後、動物園担当者が取材に応じます。メディアの方は実際にコーヒーかすの活用を始めた動物舎の撮影も可能ですが（動物が不在の可能性もあります）。コーヒーかすが動物福祉にどのように役立っているのかをお伝えします。



コーヒーかすを敷いた寝部屋で過ごすポニー



レッサーパンダやカワウソなどの寝床として麻袋を使用

■「コーヒーかす」の活用について

今回初めて、三本珈琲とドトールコーヒーのコーヒー工場から出る「コーヒーかす」が東武動物公園で活用されます。コーヒーかすは、ふかふかしており「クッション」の代わりとなります。実際に金沢動物園（横浜市）ではゾウ舎の寝床にコーヒーかすを活用し、ゾウの足の負担を軽減しています。コーヒーかすは消臭効果が高く、小バエなどの害虫の発生を抑える効果も期待できます。



■「どうぶつえんでまなぶSDGzoo」とは？

毎日新聞社が主催している全国の動物園と企業が協力したSDGsを学べるイベントです。これまでに、天王寺動物園、神戸市立王子動物園、京都市立動物園で開催してきました。東武動物公園では昨年に続き2回目の開催となります。今回のコーヒーかす贈呈式は、11月15日（土）・16日（日）に実施される「SDGzoo」イベントの一環として企画されたものです。

■イベント概要 「どうぶつえんでまなぶSDGzoo」

日時：2025年11月15日（土）・16日（日） 10:00～16:00

会場：ハイブリット・レジャーランド東武動物公園（埼玉県）

参加費：無料 ※入園料は別途必要

内容：

- SDGsスタンプラリー
- 学べる「SDGsブース」
- SDGsワークショップ
- コーヒーかす贈呈式

主催：毎日新聞社、埼玉県立杉戸高校、獨協大学経済学部高安ゼミ

共催：ハイブリッド・レジャーランド東武動物公園

協賛：江崎グリコ株式会社、ミライフ株式会社、住商フーズ株式会社